

藍住町町制施行70周年記念誌

Magazine Commemorating the 70th Anniversary
of the Establishment of Aizumi Town

あいずみーつ

Aizumeets

あいずみに出会う



あいずみに出会う

染めを繰り返すことで

濃淡が変化し、美しくなる藍。

その姿はまるで

藍住町の歩みであるかのようです。

70年の歳月を経て、

深まった「あい」。

そしてこれから生まれる、

新たな「あい」。

藍住町にあふれる

多彩な「あい」との出会いが、

あなたの「あい」を

はぐくむはずです。

Meeting Aizumi

The indigo alters its shades with repeated dyeing that makes it more beautiful. The alteration of shades overlaps the journey of Aizumi Town. For more than 70 years, Aizumi Town has been deepening its love (愛; ai) like indigo (藍; ai) deepens its color. And new love is to be discovered in the future.

Your encounter with love in Aizumi, a town full of diverse love, is sure to nurture your own love.

町長ごあいさつ

藍住町は、徳島県の中央を流れる吉野川の下流北岸に位置し、旧吉野川と吉野川に囲まれたデルタ地帯で、山が全くない珍しい町です。県内で3番目に面積が小さな町ですが、恵まれた自然環境や利便性の高い生活環境から人口3万5千人を超える、四国の中で最も人口が多い町に発展を遂げました。

平成28年からは、第5次藍住町総合計画のもと、将来像「みんな色で染めるまち・藍住」の実現に向けて、まちづくりを進めてきました。その総合計画も計画期間の終盤を迎え、藍住町は新たなフェーズに進もうとしています。

これまで以上に、藍住町の皆様が「藍住町に住んでいてよかった」、子どもたちが「藍住町がふるさとで良かった」と思えるまちづくりを目指してまいります。

ここに、町制施行70周年を記念し、藍住町の「過去」と「現在」を知り、「未来」を考える町勢要覧を発刊いたします。まだ知らない「あい」に出会う、さらに「あい」を深める一冊となれば幸いです。

最後になりましたが、町勢要覧の発刊に御協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

Message from the Mayor

Aizumi Town is located on the north bank of the downstream Yoshino River, which runs through the center of Tokushima Prefecture, and in the delta area surrounded by the old Yoshino River and the current Yoshino River. Aizumi is a rare town because there are no mountains in the area. Although the town is the third smallest in the prefecture, it has developed into the most populous town in Shikoku with a population of over 35,000 thanks to its exceptional natural environment and highly convenient living environment.

Since 2016, under the Fifth Aizumi Town Comprehensive Plan, we have been promoting town development to achieve a picture of our future, "Aizumi, a town steeped in the colors of its people." Since the planning period for this comprehensive plan is nearing its end, Aizumi Town is about to enter into a new phase.

More than ever before, we will strive to create a place where the people are happy to live in Aizumi Town, and its children are glad that Aizumi Town is their home.

In commemorating the seventieth anniversary of the establishment of the town, we are publishing this town guide for the purpose of learning about Aizumi Town in the past and the present as well as thinking about the town's future. Our sincere hope is that this guide will help you discover the new Ai of love and indigo and deepen your love for Aizumi even further.

Last but not least, we would like to express our deepest gratitude to everyone who helped us publish this town guide.



藍住町長

高橋 英夫

Mayor of Aizumi Town
Hideo Takahashi

Contents

あいに住む、藍住町	2
みんなの「あい」で染め上げる 藍住町の未来	3
Meet 01 世界に誇る藍	5
Meet 02 暮らしのそばに藍	7
Meet 03 わたしたちを支える愛	9
Meet 04 にぎわいを生むまちへの愛	11
Meet 05 未来へと継承される愛	13
藍住町の魅力に出会う AizumiMAP	15
あいと歩む70年	17



藍住町
tokushima / aizumi

藍住町ブランドロゴ

藍住町町制施行70周年を記念してブランドロゴを作成。藍住町の頭文字「A」をモチーフに、風になびく藍染めを表現しています。

徳島県
Tokushima Prefecture



吉野川の下流北岸に位置し、南は徳島市、北は鳴門市、西は板野町、東は北島町と隣接しています。

あいに住む、
藍住町
Aizumi Town where people
live with indigo and love
藍と愛にあふれるまち。
そんな藍住町を、
データで紹介します。



あいのすけ

藍染めの前掛けと
法被を着用してい
る藍商人がモチー
フのキャラクター。

総人口
35,344人
(令和7年2月末時点)

総面積
16.27 km²

町章



町の木 樟



町の花 菊



0~39歳の人口

13,639人

(令和7年1月1日時点)



総人口の約40%が
未来を担う若者世代

参考：徳島県年齢別推計人口

暮らし

＼街の幸福度ランキング／

第4位

参考：いい部屋ネット
まちの幸福度ランキング2024(四国版)

子育て

町内の子育て関連施設



30か所



公園・
スポーツ施設

9か所

文化・
交流施設

6か所

参考：徳島県オープンデータ 藍住町公共施設一覧/藍住子育て関連施設一覧

周辺へのアクセス

徳島市まで

鳴門市まで



車で

約25分

約25分



JRで

約15分

約25分

働く

町内事業所数 1,318か所

町内に住む就業者数 → うち町内で働く人

15,607人

6,007人

約40%が
町内事業所に勤務

参考：令和3年経済センサス-活動調査/令和2年国勢調査

70周年
特別企画

藍住町の未来

みんなの「あい」で染め上げる

未来の藍住町は、みんながもっとニコニコでハッピーになってほしいです。4歳から習っているダンスをがんばって上手になって、みんなを楽しませたいです。

しまづ いちか
島津 一凜さん



前にやった時より
上手にできた！



町内に住む子どもたちが
藍住町の伝統とふれあいでした

友だちにも教えてあげたいです！



まつだ ともや
松田 知弥さん

未来の藍住町は、プールやアイススケートなど遊ぶところがいっぱいあるまちになってほしいです。今は、サッカーの試合に勝てるように練習をがんばっています。

染料が思っていたより
あたたかくてびっくりした！



えぼし さな
画星 咲菜さん

ごみのポイ捨てをなくしてきれいな藍住町にしたいです。将来は警察官になって、藍住町の安全を守りたいです。そのために、勉強や運動をがんばっています。

初めてだけど楽しかった！
またやってみたいな



いぶき おうが
伊富貴 旺河さん

正法寺川公園が好きなので、未来の藍住町は公園がいっぱいあるまちになってほしいです。将来はお父さんと同じ警察官になりたいので、勉強と柔道をがんばっています。

きれいな模様が
できて
うれしかった!



未来の藍住町は、元気で助け合
いながら暮らせて、事故のない
安心・安全なまちになってほしい
です。将来はテーマパークで人
を笑顔にする仕事をしたいです。

いちみや りお
一宮 莉緒さん



やってみたく
思っていたので
自分でできてうれしかった!

もりぐち ゆま
森口 結真人さん

未来の藍住町は、みんなが健康
で、楽しく仲がいいまちになって
ほしいです。今、スポーツクラ
ブで取り組んでいる陸上をこれ
からもっとがんばりたいです。

子どもたちが伝統と 出会う

藍住町の未来を担う子どもたちに
藍染体験とインタビューを実施。
自分とまちの未来について考えてもらいました。

町制施行70周年を記念して、
町内に暮らす8名の小学生に藍
染めを体験してもらいました。ま
た、子どもたちが考えるまちの未
来の姿と将来の夢やがんばりたい
ことについてインタビューを実施
しました。

Future of Aizumi Town dyed with everyone's Ai

In commemorating the seventieth anniversary of the
establishment of Aizumi Town, eight elementary
school students living in the town experienced indigo
dyeing. We also interviewed them about their thoughts
on the future of the town, their dreams for the future,
and for what they want to do their best.

とても楽しかった!
出来栄は95点!



ばんどう りん
坂東 凜さん

住む場所がたくさんあって、子
どもたちが住みやすい藍住町
になってほしいです。今やって
いるチアダンスの練習をがんば
って、プロダンサーになりたい
です。

ふじわら おうげん
藤原 凰玄さん

未来の藍住町は、みんなが
礼儀正しく気持ちよく過ごせ
るようなまちになってほしい
です。将来は、たくさんの得
点を決められるサッカー選手
になりたいです。



布の色が変わるのが
おもしろかった!

meet
01

世界に誇る 藍

日本を代表する色、藍。
そして、世界に誇るべき
藍のストーリーが藍住町に息づいています。

日本を代表する
ジャパンブルー

古くから日本の暮らしに深く
関わる「藍」。明治時代、訪日し
た外国人が藍色に彩られるまち
を見て、「この国は神秘的なブ
ルーに満ちた国」と称賛しまし
た。近年では、東京2020オリ
ンピック・パラリンピックのエン
ブレムやサッカー日本代表のユニ
フォームにも使われるなど、名実
ともに世界に誇る日本の代表色
となっています。

かつて阿波藍の一大産地であっ
た徳島。阿波藍の継承や発信に取



「藍とくしま」ロゴマーク

World-renowned indigo

Indigo, which has been deeply connected to Japanese lives since ancient times, is admired as a mysterious blue color and is used in a variety of materials, such as the emblems of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games.

Tokushima was once a major producer of Awa indigo, and it cultivated the indigo plant and processed it into indigo dye called *sukumo*. Today, Tokushima Prefecture is taking the initiative to pass down and promote Awa indigo, and the story titled *Awa – The Home of AI – Searching for the Supreme Blue of Japanese Indigo*, which was applied in 2019, was designated as a Japan Heritage.

り組み、7月24日を「とくしま藍の日」、藍色を「徳島県の色」とするなど、藍の魅力発信を進めています。さらに、藍住町を含む吉野川流域9市町が令和元年（2019年）に申請した「藍のふるさと阿波」日本中を染め上げた至高の青を訪ねて「藍」が日本遺産に認定されており、徳島県から日本、世界にかけて「藍」の魅力がとどまることなく広がり続けています。

日本遺産
公式HP



日本遺産



藍住町の藍づくり

種まき～刈り



3月上旬に種をまき、4月中旬に本畑に移植。梅雨の晴れ間に、「一番刈り」「二番刈り」「三番刈り」を行います。

こな 藍粉成し



刈りとった藍を細かく刻み、葉と茎に選別します。それぞれに分けて薄く広げ、天日乾燥させます。

寝せ込み



乾燥させた葉藍を積み上げながら水を打ち、発酵させます。発酵が進むと60～70℃の高温となります。

切り返し



5日ごとに水を打ち、混ぜ合わせてまた積み上げる作業を約100日間かけて行い、ムラなく発酵させます。

すくも完成



すくもが完成すると、わらで編まれた「かま」と呼ばれる専用の袋に詰めて保存します。

藍建て



すくもに灰汁を入れて液をつくります。その水面に泡（藍の華）が立つと染められる状態になります。

染め



建てた液にゆっくりと布や糸をつけ、空気に触れると美しい色に発色。繰り返すと色は濃くなります。

完成



古くから続く 阿波の藍づくり

阿波は、古くから藍の産地であつたと考えられ、文安2年（1445年）の『兵庫北関入船納帳』には、阿波から多くの藍が畿内へ運び出されていた記録があります。

徳島での「藍」の発展は、吉野



あなたと藍住が会う
Aizumeet You!

藍づくりの様子を日々更新！

藍づくり拠点である「あいずみ藍工房」では、地域おこし協力隊とともに藍の栽培やすくもづくりを行っています。藍づくりの様子や展示会の案内などは、藍工房のSNSで日々発信しています。

藍工房
Instagram



川が深く関わっています。吉野川の洪水によりもたらされた肥沃な土壌と、伏流水が豊富な徳島は、藍作に適した地でした。さらに、加工されたすくもは吉野川の水運で出荷され、全国へと送り届けられました。



藍に携わる人々

藍住町では、藍を未来に継承する取組を行っています。藍栽培を守る人や藍染めを伝える人など、たくさんの人がさまざまな形で藍に携わっています。



あいずみ藍工房

藍染めの普及や阿波藍復興の中核施設。藍関連技術者の養成やすくも製造工程見学、藍染体験などを通して、藍のPRを行っています。



触れる

Experience



藍住町歴史館 藍の館

阿波藍の歴史や生活文化を伝える歴史資料館。大藍商であった旧奥村家の屋敷13棟が藍住町に寄附されたことをきっかけに開館しました。歴史文化に加え、日本遺産のストーリーを広く普及する、藍の情報センターとしての役割を担っています。

Indigo in your daily life

Tokushima Prefecture developed as a major indigo-production area, but indigo production ceased because of the import of large volumes of chemical dyes from overseas. However, the advantages of natural dyes have been re-evaluated worldwide in recent years, which revived the production of indigo in Aizumi Town, and indigo has become the brand of the town. We offer indigo dyeing experiences, indigo workshops, and the manufacture and sales of a wide variety of indigo-dyed products. We also offer opportunities to experience, use, and enjoy indigo.

あなたと藍住が出会う
Aizumeet You!

伝統を味わう、藍染体験！

藍の館では藍染体験も実施。ハンカチやタオル、ストールなどを、好きな柄に染めることができます。江戸時代に確立された技術である「灰汁発酵建て」によって建てられた染液を使った藍染体験で、子どもからおとなまで、楽しみながら藍に触れることができます。



藍の館HPを
チェック！



meet
02

暮らしのそばに藍

藍に触れる場、使う機会、楽しむイベント。

藍住町での暮らしのそばには、いつでも藍があります。



藍住町の藍染製品

地域おこし協力隊によって栽培された、藍住町産の藍を使ってさまざまな藍染製品が作られています。抗菌や消臭の効果を持つ藍染製品は、国内外で注目されています。

徳島県は江戸時代から明治時代にかけて、藍の一大産地として発展しましたが、明治30年代に海外から化学染料が大量輸入されたことにより衰退し、藍住町でも藍づくりが途絶えてしまいました。

しかし近年、世界的に天然染料のよさが見直されたことによって、藍住町では藍づくりが復活。さらに、商品の販売やイベント開催など、藍がまちのブランドになっています。藍染体験の実施や藍の学習ができる場に加え、多彩な藍染製品の製造・販売やワークショップなどの催しを実施。藍に触れて、使って、楽しむ機会を提供しています。藍住町の暮らしのそばにはさまざまな形で藍が関わり、まちを彩りながら、町民の藍への愛着を深めています。

触れて、使って、
暮らしの中で藍を楽しむ



藍のワークショップ

町内の藍染関連施設では、藍を使ったワークショップを開催。自分だけのオリジナル作品を通して、藍を楽しんでいます。



“藍”de グルメ

ハンカチや服などの藍染製品を身につけて食事や買い物をする、お得なサービスを受けることができるイベントを開催。スタンプラリーも実施し、住民と地元のお店との交流が生まれる機会となっています。

meet

03

わたしたちを 支える愛

藍住町で健やかに育ち、
長く健康に暮らしてほしい。
そんな町民への愛が、
支援の充実につながっています。



健やかなはぐくみを 支える愛

Love that supports healthy development

0歳から18歳までの医療費を助成する「子どもはぐくみ医療費助成制度」や町内10か所の保育所による保育支援など、さまざまな面から子育てを一体的に支えています。

手当・助成で子育てしやすく!

Allowances and subsidies to make childcare more convenient!



子育てを支える場が充実!

Plenty of facilities for childcare!



町内の保育所



放課後児童クラブ

あなたと藍住が会う
Aizumeet You!

子育てするなら、藍住町!

藍住町では愛のある子育て支援が充実。子育て家庭の負担を軽減する手当・助成や心身ともに支える支援、安心して預けられる施設などを整備しており、藍住町は子育てにぴったりです。

藍住町の
子育て支援





長く健康な暮らしを支える愛

Love supports long and healthy lives

全ての人が健康で快適な暮らしを送れるように町内での移動支援や相談窓口の設置、いきいきサロンでの体操や健康チェックを実施し、健康的な暮らしを支えています。

高齢者の暮らしを快適に!

Making life comfortable for the elderly!



高齢者向け総合相談窓口



ノリ乗りタクシー券

健康な暮らしを続けるために!

To continue healthy lives!



いきいき百歳体操



いきいきサロン

Love that supports us

Aizumi Town is taking an affectionate approach so that everyone living in the town can grow up freely and easily and lead healthy lives. We provide a healthy and comfortable lifestyle through childcare support to protect children's growth, appropriate learning support for each child and student, and support services for the senior generation, such as health promotion and transport.

全ての世代に向けた藍住町からの愛が町民の暮らしを支えています。

高齢世代に対しては、健康づくりや移動支援などの事業で健康で快適な暮らしを提供しています。

子どもたちの健やかな成長を守るために、子育て支援や施設が充実。教育の面でも、幼・小・中が連携した教育によって、児童・生徒一人一人の適切な学習を支援しています。

藍住町では、まちに暮らす全ての人々がのびのびと育ち、健康な生活を送ることができるよう、愛ある取組を実施しています。

暮らしを支える
藍住町の愛ある取組



未来を担う世代を支える愛

Love supports the generation that will bear the future

藍住町の教育では、中学生海外派遣や読書推進により未来を担う人材を育成しています。また、幼・小・中が互いに連携して子どもたち一人一人の適切な学びを提供し、成長を支えています。

未来で活躍する人材の育成!

Developing human resources who will play active roles in the future!



グローバル人材の育成



読書活動の推進

幼・小・中が連携した教育!

Education in collaboration with preschools, elementary schools, and junior high schools!



藍住町立幼稚園



藍住町立小学校

meet
04

まちなにぎわいを生む
さまざまな交流

藍住町では数多くの人々による
交流が町内にとどまらない広い地
域で展開しています。伝統産業を
通した山形県河北町との連携事
業やまちの資源を活用したイベン
トを開催し、「人と人」「人とまち」
「まちとまち」などの多種多様な
交流を行っています。その交流が
大きな盛り上がりをもたせ、まち全
体でにぎわいを創出しています。

まちにあふれるにぎわいは、藍
住町に関わる全ての人からのまち
に対する愛によって生み出されて
います。

Love for the town that creates vibrant activities

Aizumi Town has exchanges not only within the town but also with towns across a broad area. Our exchanges include a wide variety, such as collaborative projects with Kahoku Town in Yamagata Prefecture through traditional industries and events that utilize the town's resources. Such exchanges create vibrant activities throughout the town.



町内で開催される マルシェ

地元特産品や食品、ハンドメイド
雑貨などを集めたイベントで、藍住
町の魅力を一挙に体感できます。



山形県河北町との連携事業

友好都市の山形県河北町と連携し、特産であ
る紅花染とコラボした工芸品の開発などを行っ
ています。

総合文化ホールで イベント開催

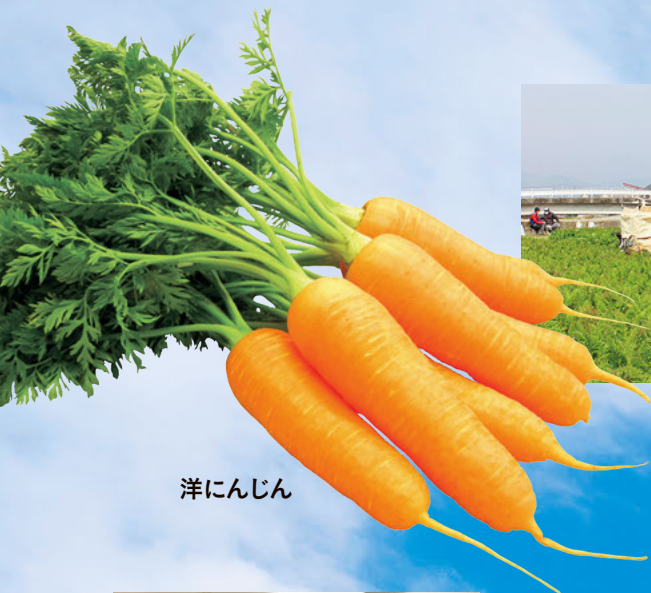
クラシックコンサートや狂言などを
定期的で開催している他、演劇や
講演会など多様なイベントでにぎ
わっています。



地域交流や活気ある産業。
そのにぎわいは、町民の愛から生まれています。

にぎわいを生む まちへの愛





洋にんじん



新作物研究会

藍住町の一大農産物であるにんじんに頼らない経営をめざし、平成13年(2001年)に新作物研究会が発足しました。にんじん栽培の設備やノウハウを活用し、愛住ねぎなどの新作物の試作研究を行っています。



味噌



事業者支援

藍住町で創業・起業する人を対象に、「創業塾」を開催。事業計画作成や経営に関する研修を実施し、創業・起業の支援を行っています。

あなたと藍住が出会う
Aizumeet You!

新たに生まれる交流の場!

藍住町では新たな交流の場を整備しています。リニューアルした東中富桜づつみ公園には新たにバーベキューエリアがオープン。休日には多くの人が集まり、にぎわっています。

P15 AiMAPでも紹介しています!



吉野川流域の恵まれた土壌と水によって農業が盛んな藍住町。全国有数の生産地となっている洋にんじんをはじめ、さまざまな農作物を栽培しています。他にも、町内事業者の経営支援や創業・起業に関するサポートなど、商工業のさらなる発展を見据えた支援を行っています。事業者を支える取組と、それに応えるまちへの愛によって活気が生まれています。

Aizumi Town is thriving from its agriculture thanks to the fertile soil and water of the Yoshino River basin. The town grows a variety of agricultural products that include carrots, for which the town is one of Japan's leading producers. Moreover, the town provides support services, such as management support for local businesses and support for business establishment and start-ups.

藍住町総合文化ホール

633席の大ホールや楽屋、スタジオなどを備え、さまざまな活動に対応しています。また、行政関係機関も併設し、まちの一大交流拠点となっています。



未来へと受け継がれる 藍住の歴史

藍住の地にある勝瑞は、室町時代に阿波守護細川氏の守護所、また、阿波の実権を握った三好氏の本拠地として、阿波の政治・経済・文化の中心でした。阿波守護の細川頼之は、將軍足利義満に請われて室町幕府の管領に就任し、管領細川家の祖となります。以後、阿波守護家は管領家に最も近い家筋として幕府政治の中でも重要な位置を占めました。また、細川権力の一翼を担っていた三好氏は徐々に力をつけ、三好長慶の時代には、畿内の実権を掌握するほどの全盛を築き上げました。しかし、天正10年（1582年）の長宗我部氏の阿波侵攻により、衰退してしまいました。

Love to be passed down to the future

Shozui was the center of Awa, as *Shugosho*, the place where the Hosokawa clan of the Awa *Shugo* (military governor) was living, as well as the headquarters of the Miyoshi Clan. Hosokawa Yoriyuki, the Awa *Shugo*, occupied an important position in the Muromachi Shogunate as he became the Kanrei in that shogunate. The Miyoshi clan, which played a part in the power of the Hosokawa, prospered as much as it controlled the Kinai region, but declined after the Chosokabe clan invaded Awa. The excavation surveys that began in 1994 unearthed many remains and artifacts from that time. The site was designated a national historical place in 2001 and is currently a historic park used as a place of relaxation by the townspeople.

ゆきなが
三好之長

応仁の乱にも出陣した武将で、三好氏の畿内進出のきっかけをつくりました。

ながひで
三好長秀

之長の子で、智勇に優れた武将。細川澄元に奉じて上洛し、幕政を支えました。

もとなが
三好元長

堺を拠点に幕府の政治を動かした武将。天文元年（1532年）、一向一揆に敗れ自害しました。

そごう かずまさ
十河一存

元長の四男。勇猛さと風貌から「鬼十河」と呼ばれていました。

あたぎ ふゆやす
安宅冬康

元長の三男。淡路水軍を抑え、長慶の畿内支配を支えました。

じっきゅう
三好実休

元長の次男。兄の良き補佐役であり、茶人でもありました。

ながよし
三好長慶

元長の長男で、3人の弟と畿内から四国の大勢力を築きました。

三好長慶

生誕500年

徳島を代表する戦国武将、三好長慶の生誕500年を迎えた令和4年（2022年）に、「勝瑞1522」というイベントを開催。ワークショップや展示、弓術演武や狂言を行い、地域に受け継がれる歴史の魅力を発信しました。



弓術演武

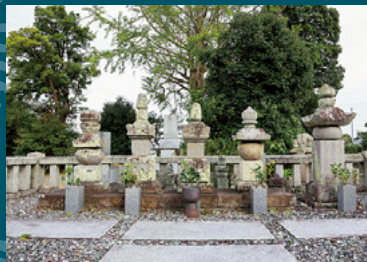
未来へと受け継がれる愛

阿波の中心であった
藍住町にはさまざまな
歴史や文化が残り、
先人から脈々と
受け継がれています。



住吉神社

四柱を祀る四柱神社で、実休が幼少期に神職を務めた由緒正しい神社。また、源平合戦の時に源義経が戦勝祈願をしたとされています。



見性寺の三好家の墓

勝瑞城があった場所に建てられた、三好氏の菩提寺。境内には、之長・元長・実休・長治のものとされる墓が並んでいます。

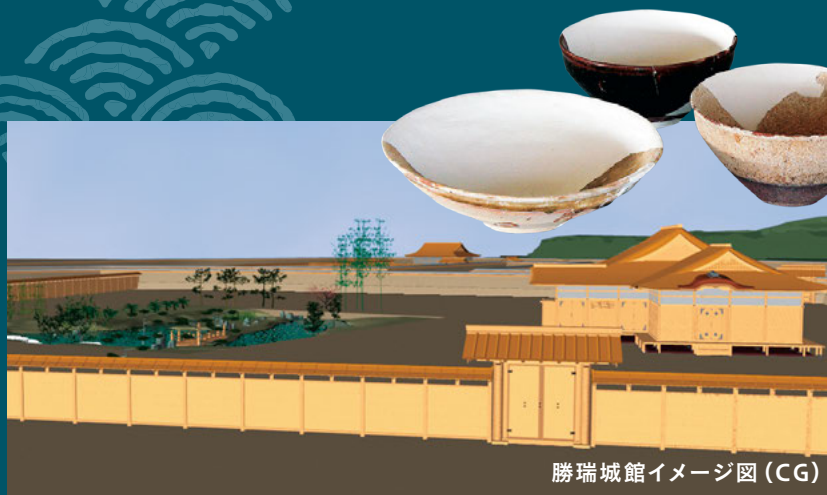
勝瑞城館跡で平成6年（1994年）から始まった発掘調査では、当時の生活文化を物語る遺構や遺物が多数出土。平成13年（2001年）には国史跡に指定され、現在は史跡公園として住民の憩いの場となり、歴史を知るイベントなどが開催されており、藍住の歴史が未来へと受け継がれています。

あなたと藍住が会う
Aizumeet You!

歴史あふれる藍住町を旅しよう

藍住町には歴史資源に加え、イベントや特産品など魅力が満載。スポットを網羅したデジタルパンフレットを片手に藍住観光を楽しんでみてください。

パンフレットを
チェック



勝瑞城館イメージ図 (CG)

勝瑞城館跡出土品

勝瑞城館跡の調査では、下駄や茶器、すずり、羽子板、短刀など、数多くの遺物が出土しており、当時の衣食住や戦いの姿を知る貴重な資料となっています。

まちの歴史を 未来に受け継ぐために

300年以上前から伝わる「南陽神社の獅子舞」や勝瑞城館跡の出土品に触れる「夏休み考古学調査隊」など、まちの歴史や文化を守りながら子どもたちへと受け継いでいます。



南陽神社の獅子舞



夏休み考古学調査隊



千光寺

蜂須賀至鎮が愛したとされる臥龍梅があった寺で、「梅の坊」とも呼ばれています。今の梅は、当時のものから3代目と伝えられています。



正法寺

徳島藩初代藩主・蜂須賀至鎮（よししげ）の正室、敬台院が再興した名刹。現在も残る、荘厳な美しさを持つ天井絵が有名です。



いびらめ 伊比良咩神社

東中富に鎮座していたとされる神社。近世中期に改築された本殿・拝殿は、高価なケヤキが主材であり、藍産業による繁栄がうかがえます。



諏訪神社

華麗な造りの本殿は、全国の藍市場に進出・活躍した藍師や藍商からの寄進によって建立。海上安全や商売繁盛の神々が祀られています。

至鳴門市

藍住町の魅力に出会う

Ai MAP

Discovering the charm of Aizumi Town
Ai MAP

文化体験やショッピング、
体を思いっきり動かせる遊び場…。
一歩まちに飛び出せば、
たくさんの魅力に出会えます。



たくさんの本があって、絵本の読み
聞かせや紙芝居をやっています！

② 町立図書館

旧吉野川

●江ノ口児童館

●西部児童館

14

●正法寺

●藍住北小学校

●藍住北幼稚園

●認可保育園おひさま

●藍住ひまわり保育園

●あいずみ藍工房

●見性寺

●勝瑞館跡

●勝瑞城跡

●南陽神社

至北島町

●正法寺川公園

●藍住町立中央保育所

●藍住町勤労女性センター

●ファミリー・サポート・センター

●体育センター

●藍住東中学校

●藍住東小学校

●藍住東幼稚園

●勝瑞児童館

●正貴寺跡

勝瑞

1

3

2

●藍住町武道館

●藍住中学校

●住吉児童館

●住吉神社

●ニチイキッズ
あいずみ北保育園

●ニチイキッズ
あいずみ
さかふじ
保育園

●藍住ゆめあい保育園

29

●千光寺

●徳命児童館

●パークゴルフ場

●藍住町
河川敷
運動公園

吉野川

至徳島市

吉成

広くてお店もいっぱい！ごはんも食
べられるので一日中楽しめます！



⑦ ゆめタウン徳島



⑤ 藍住町総合文化ホール

大きなホールでいろんなイベントが
開催されています！



**令和6年7月
リニューアル
オープン!**

東中富桜づつみ公園

3,800㎡の広場やカラフルな遊具などを整備した公園。園内や隣接する川沿いは桜の名所として知られています。令和6年(2024年)7月からはバーベキューエリアがオープンしました。

桜がきれいに咲いていて、バーベキューも楽しめます!



カラフルなバラがたくさん咲いていて、とてもきれいです!



6 藍住町バラ園

バスケットボールや卓球などいろんなスポーツができます!



3 町民体育館



アクセス

JR

大阪→[新幹線岡山経由](3時間)→徳島→[高徳線](15分)→勝瑞
東京→[新幹線岡山経由](6時間)→徳島→[高徳線](15分)→勝瑞

バス

大阪→[高速バス](2時間30分)→JR徳島駅前→[徳島バス](40分)→藍住役場前
東京→[高速バス](9時間)→JR徳島駅前→[徳島バス](40分)→藍住役場前

きれいな建物で、役場の人も親切です!



1 藍住町役場

あいあい保育園

藍住西幼稚園

●富吉児童館

●藍住西小学校

防災備蓄倉庫

藍住あおば
●保育園

藍住南ひまわり
●保育園

至板野町

●東中富
親水公園

●あいずみ保育園

奥野児童館

藍住南幼稚園

東中富
●桜づつみ公園
●東中富児童館

藍住南小学校

諏訪神社

●伊比良神社
徳島自動車道

藍住IC

●犬伏家住宅

4

藍の歴史の勉強や藍染体験ができます!



4 藍住町歴史館 藍の館



あいと歩む 70年

「あい」とともに歩む
藍住町70年の歴史

藍住町は、昭和30年（1955年）に藍園村と住吉村が合併して誕生しました。県内で3番目に小さなまちでありながら、その住みよさから、四国の中で最も人口が多い町として発展を続けています。

吉野川の清流と豊かな緑に恵まれた藍住町は「藍」を地域資源として活気を生み出し、多くの人が生活を送りながら「愛」をはぐくんできました。誕生から「あい」とともにあった藍住町の70年を振り返ります。

A 70-year journey of walking with love and indigo

Though it is the third smallest town in Tokushima Prefecture, Aizumi Town is developing as the most populous town in Shikoku because of its livability. We look back on the 70 years of Aizumi Town, where it has created vibrant activities by using indigo as a regional resource and fostering love while many people live there.

1985年3月

東小学校・東幼稚園 完成

1988年3月

東中学校 完成

1989年8月

町立図書館、藍住町歴史館
「藍の館」開館



1975 20周年

1975年3月

南・北幼稚園 完成

1977年10月

バラ園 開園



1978年3月

北小学校 完成

1965 10周年

1965年11月

統合中学校（現・藍住中学校）
完成

1967年12月

給食センターが完成し、学校
給食を開始

1971年4月

保育所（現・中央保育所）完成

1973年7月

町の木に「樟」、町の花に「菊」
を制定

1985 30周年

1991年7月

山形県河北町と友好都市締結

1992年3月

町民体育館（現・藍住中学校
体育館）完成

1994年3月

徳島自動車道藍住～脇町間
開通



1979年2月

南小学校 完成

1981年1月

人口が2万人を超える

1982年3月

西小学校・西幼稚園 完成

1955 藍住町誕生

1955年4月

藍園村と住吉村が合併し、藍
住町が誕生



1957年1月

町章を住民から公募し、制定

1959年3月

役場庁舎（前庁舎）完成



1963年2月

名田橋 開通



2019年5月



吉野川流域9市町で申請した「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」が日本遺産に認定

1989年8月



藍住町歴史館「藍の館」開館



2015年4月

藍住町マスコットキャラクター「あいすけ」誕生



1995年8月

徳島自動車道藍住～徳島間
開通

1997年5月

合同庁舎（現庁舎）完成



2025

70周年

2015

60周年

2016年9月

リオデジャネイロ五輪パドミントン女子ダブルスで金メダルを獲得した松友美佐紀選手に本町初の町民栄誉賞を授与

2017年6月

人口が3万5千人を超える

2019年11月

総合文化ホール 開館



記念式典



こけら落とし公演

1995

40周年

1999年7月

人口が3万人を超える

2000年8月

徳島北環状線が全線完成

2001年1月

勝瑞館跡と勝瑞城跡が、勝瑞城館跡として、国の史跡に指定

2002年5月

東中富桜づつみ公園 開園

2005

50周年

2009年10月

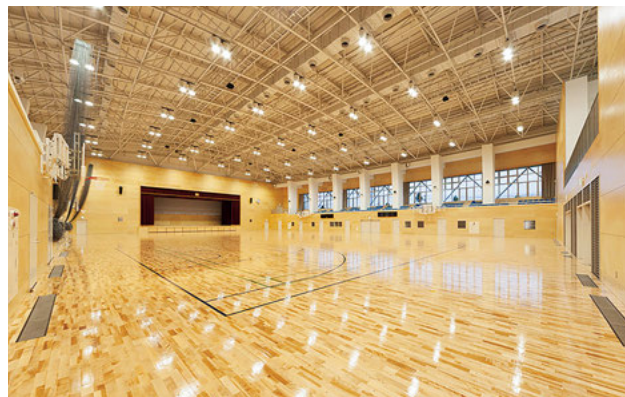
河川敷運動公園パークゴルフ場 オープン

2011年11月

株式会社イズミとまちづくりに
関する協定を締結

2013年9月

町民体育館（現）開館



「あい」に会う、
\\「あい」をはぐくむ。//



**藍住町
町制施行70周年記念誌**

発行：令和7年（2025年）3月
〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52番地1
TEL:088-637-3111（代） FAX:088-637-3154
<https://www.town.aizumi.lg.jp/>

**Magazine Commemorating the 70th Anniversary
of the Establishment of Aizumi Town**

Published in March 2025
52-1 Aza-Yakamimae, Okuno, Aizumi town, Itano-gun,
Tokushima Prefecture, 771-1292
TEL 088-637-3111 FAX 088-637-3154
<https://www.town.aizumi.lg.jp/>